

国際地域学部 3 年
大柳亜美
留学先：マカオ大学

3 月分報告書

こんにちは。マカオに留学してから 3 か月が経ちました。今回もマカオやマカオ大学の色々なことについて報告したいと思います。

サークル活動について

私は 2 月の初め頃に合唱サークルのオーディションを受けて合格し、旧正月の後から活動に参加しています。オーディションがあるとは考えておらず、しかも 2 次選考までであったのですが、合格して良かったです。合唱サークルの活動は週に 3 回、3 時間ずつあります。合唱サークルでは学期ごとに学校でコンサートを発表しており、今も 4 月の終わりにあるコンサートの練習をしています。



サークルの部員はほとんどが中国語を母語とする学生で、顧問の先生による指導も広東語で行われますが、周りの友達に訳してもらっているおかげで問題なく参加できています。周りの部員たちはとてもフレンドリーで、日本語で話しかけたりもしてくれるため助かっています。サークルに入ることによってマカオ大学に顔見知りの仲間がいる居場所が増えたような気がするので良かったと思います。

コンサートで歌う曲は短いものを含めて 10 曲で、なぜか 10 曲とも中国語以外の歌です。そのうちの 6 曲は英語、1 曲はラテン語、3 曲はなんと日本語です。部員の中に日本人は自分しかいないためよく発音について質問されます。日本語の発音についてなにも考えずに生きてきたのですが、日本語の発音は外国人にとって難しいということに初めて気づきました。例えば、歌詞の読み方をそのままローマ字にして日本人ではない人が読むと少し違和感があります。中国語と日本語の発音は母音から違うため、教えるのも大変です。しかし、何とか工夫して自然な発音を教えられるように頑張りたいです。短期間で 10 曲も覚えなければならず、割と難しい曲なので大変ですが、コンサートを成功させるために努力したいです。

寮の夕食会について

3 月の終わりごろには、寮で high table dinner という夕食会がありました。High table dinner では、参加者は正装をしてスピーチの後に音楽の演奏を聴きながら豪華な食事を食

べます。今回のドレスコードは暗い色のドレスかスーツの上に寮から支給されるガウンでした。食事は普段と異なりマカオのホテルが提供したものを食べました。前菜はミネストローネのスープとパンの盛り合わせで、メインは鶏肉のソテー、さらにデザートとしてティラミスも付いてきました。私は普段このようにきちんとした場で豪華な食事をするのではないので少し緊張しましたが、貴重な体験が出来たので良かったです。また、周りに知って



いる人がおらず、どうしようかと思っていたのですが、思い切って隣の人に話しかけてみたら色々な話が聞けて連絡先も交換できたので良かったです。福井大学ではこのような食事会はないので新鮮に感じました。マカオ大学では寮が10個あり、それぞれ独立してこの high table dinner 以外にもイベントが頻繁にあります。サークルもあるので大変ですが知り合いを増やすためにも時間を見つけて参加していきたいです。

イースター休みについて

マカオではキリスト教の文化が根付いており、3月30日から4月2日までイースターであり、祭日でした。2月には中国の旧正月で2週間休みであったのにイースター休みも存在するのは東洋と西洋の文化が混在するマカオならではのようです。私は3月31日から4月2日まで中国の福建省の廈門市に旅行していました。廈門市へはマカオ国際空港から2時間ほどかかりました。マカオ国際空港にはちょうどイースターのモニュメントが置いてありました。イースターは日本ではあまりなじみがないですが、これをきっかけに勉強したいです。廈門市では、土楼という昔の住宅とコロンス島を訪問しました。両方とも世界遺産であり、中国の歴史を深く感じる事が出来ました。マカオだけでなく中国の文化にも興味があり、距離的にも近いので中国の他の都市にも訪問したいです。特に広東省の珠海市とマカオは陸続きで接しており、日帰りで行けるらしいので、近いうちに訪れたいです。

